

健康面のこだわり

ホームメイドの家を“安心できる家”にしているのは、セルロース断熱材、製品の環境基準に厳しい北米の、管理された森から計画的に切り出される構造材、美しいドライウォール、有害な化学物質を含まない水性仕上げ塗料 PARA ペイント。特に重要なこれらの資材は、どれかひとつでも欠けてしまうと健康に配慮した家はずつとつくりだすことができません。今回は、そのうちのドライウォールと、ドライウォールに使われる PARA ペイントについてお話ししましょう。

PARA PAINTS



「塗料にはニオイがあるでしょ？」それは日本の塗料の話です。できたてのホームメイドの家を、お施主様のご入居前にオープンハウスとして公開すると、訪れるお客様は皆、『ニオイがない』ということに、当たり前すぎて気づかないほど快適とおっしゃいます。

北米では水性塗料で仕上げるドライウォールはとてもメジャーな工法なので、日本と比べものにならないほど高品質な塗料が開発されています。私たちが、ドライウォール用に輸入している水性塗料 PARA ペイントはニオイをほとんど感じません。また、洗練された美しい 2400 色以上の中から、好きなカラーを選ぶことが可能です。つやがない仕上がりのため、間接照明に照らされた光のグラデーションが美しく、お部屋に上品さや高級感を出せるのも特長です。

手垢などのちょっとした黒ずみは、水拭きできれいに落とすことができます（普通、ツヤなし水性塗料は水拭きができません）し、落ちない汚れは上から同じ色で塗ってしまえば OK。カナダでペイントショップで売られている PARA ペイントは、プロでなくてもムラにならず美しく仕上げられるのです。



健康に配慮した室内の壁として、珪藻土を使いたいという方が増えていますが、北米式塗り壁・ドライウォールも、最近注目されています。

DRY WALL



ドライウォールは、石膏のテーパーボードを貼り、ボードのつなぎ目と表面仕上げを天然石膏パテで処理します。隙間はすべて埋められるので、しっかりと気密が保たれます（でも、ホームメイドの家は「高気密」ではなく「中気密」です。詳しくは『本当の安全性って？』をご覧ください）。また石膏は、火を抑える性質があるので、万が一、火災が発生したときも、延焼を防いでくれます。

ドライウォールはデザイン性も優れ、パテ作業の際にいろいろなテクスチャー（表面の表情）をつけることができます。また、出隅コーナー部分はブルノーズという角を丸くした部材を使うので、部屋全体が、とても柔らかな印象になります。仕上げには水性のドライウォール用ペイントを塗ります（PARA ペイント）。

ドライウォールが施工したドライウォールは、年月が経過しても壁にクラック（ひび）が入ることはほとんどありません。もしクラックが入っても、ドライウォールは珪藻土と違い、ご自身で簡単に補修することができます。もちろん、画びょうを刺した跡などもきれいに直せます。



〒470-0135 日進市岩崎台 4-905

TEL: 0561-75-4087 FAX: 0561-75-4088

URL: <http://www.homemade-co.com>

E-mail: info@homemade-co.com